

## 平成22年度 教育委員会の重点目標達成状況報告書

＜総括説明＞		
<p>10項目の重点目標を定め、教育委員会一体となって目標達成に向け努力してきた結果、一部達成も含めて8項目について達成することができた。目標が達成できなかった「信頼される学校づくりの推進」や「競技力向上対策の推進」についても、市町教育委員会や関係団体等と連携した取組の結果、一定の効果はあったものと考えている。</p> <p>この達成状況を踏まえつつ、今後も引き続き、長崎県教育基本方針及び長崎県教育振興基本計画に則り、市町教育委員会や関係機関等との連携・協力のもと、自らの人生と郷土や国家の未来を切り拓き、変化の激しい国際社会で活躍できる人材を育成するための各種施策に取り組む。</p>		
番号	項目	具体的な目標（達成水準）
1	学力向上対策の推進	<p>全国学力・学習状況調査の結果が全国平均を上回る調査項目</p> <p>8項目中8項目</p>
	達成状況の区分： 一部達成した	<p>＜今後の課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語力を高める手立てとして、小学校を対象に「言語活動の充実を図る実践研究」に取り組み、その普及を図る。</li> <li>・授業改善のための教員研修や授業をサポートする学習支援チーム派遣を行う。</li> </ul>
	<p>＜達成状況＞</p> <p>中学校の4項目はすべて達成した。小学校は4項目とも下回ったが、全国平均との差は縮まっている。文章の読み取りや記述式問題の正答率を高める必要がある。</p>	
		<p>公立小・中学校の</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「基礎・基本チャレンジ」への参加率 85%</li> <li>・「活用に関する教材事例」の利用率 65%</li> </ul>
	達成状況の区分： 達成した	<p>＜今後の課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一層の向上を目指し、出題内容や教材の質の向上を図るとともに、授業等で利用しやすい内容・構成にしていく。</li> </ul>
	<p>＜達成状況＞</p> <p>基礎・基本チャレンジ参加率87%、教材事例活用率71%であり、いずれも目標を達成した。</p>	
		<p>算数・数学コンクールへの参加者数</p> <p>2,000名</p>
達成状況の区分： 達成した	<p>＜今後の課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度も目標達成に向け、事業内容の充実を図る。</li> </ul>	
<p>＜達成状況＞</p> <p>平成22年度の算数・数学コンクールへの参加者数</p> <p>2,705名</p> <p>(小学生 1,137名、中学生 1,568名)</p>		

【様式2】

番号	項目	具体的な目標（達成水準）
2	安全・安心で快適な学校づくりの推進	県立学校の耐震化率  88.5%
	達成状況の区分： 達成した ＜達成状況＞ 55棟の耐震補強工事が完成。 また、老朽化した施設の改築、解体等（閉校3校の校舎未使用化含む）により、県立学校施設の耐震化率を90.3%に上げた。	＜今後の課題＞ ・平成24年度までの耐震化完了を目指す。
3	職業教育の推進	新規公立高等学校卒業者の県就職率が、九州の平均就職率を上回る
	達成状況の区分： 達成した ＜達成状況＞ 新規公立高等学校卒業者の平成23年3月末現在の就職率 長崎県：96.9% 九州平均（沖縄県を除く） ：95.5%	＜今後の課題＞ ・関係機関と連携して高校生の県内企業就職への理解を促す。
4	子どもの読書活動の推進	1か月の読書量 小学生 11.4冊 中学生 5.5冊 高校生 3.3冊
	達成状況の区分： 一部達成した	＜今後の課題＞ ・読書量の増加とともに読書の質の向上を図ることで、子どもの読書活動のさらなる推進を目指す。
	＜達成状況＞ 1か月の読書量 小学生 11.5冊 中学生 5.3冊 高校生 3.7冊	
	憧れを育てて志を高める教育の推進	小学校における「夢や憧れを抱く長崎県の子供」のモデルカリキュラムの活用  100%
	達成状況の区分： 達成した ＜達成状況＞ すべての学校において、子どもの夢や憧れを育むための教育活動を実施した。	＜今後の課題＞ ・今後は中学校を対象に「あこがれを志へ高める生徒」の育成に取り組み、小中連携を踏まえながら活用率の向上を図っていく。

番号	項目	具体的な目標（達成水準）
5	特別支援教育の推進	公立小・中学校における個別の教育支援計画作成率 70%
	達成状況の区分： 達成した	<p>&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の教育支援計画を活用し、関係機関と連携した効果的な支援を進めるためには、教員の専門性の向上とともに学校が組織として特別支援教育に取り組む体制づくりが重要である。</li> <li>・特別支援教育に関する各種研修の充実を図るとともに、県教育センターの教育支援ネットワーク事業や特別支援学校のセンター的機能を活用した学校支援や個別相談の更なる充実を目指す。</li> </ul>
	<p>&lt;達成状況&gt;</p> <p>平成22年度特別支援教育体制整備状況調査（H22.9.1現在） 公立小・中学校における個別の教育支援計画作成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 316校作成済み（全383校）作成率82.5%</li> <li>・中学校 150校作成済み（全193校）作成率77.7%</li> <li>・小・中学校計466校作成済み（全576校）作成率80.9%</li> </ul>	
6	信頼される学校づくりの推進	小・中学校における学校関係者評価（外部評価）の実施率 95%
	<p>達成状況の区分： 達成できなかった</p> <p>&lt;達成状況&gt;</p> <p>実施率86%であり、市町間、小・中学校間で実施率に差がある。21市町のうち10市町では小・中学校とも実施率100%に達している。</p>	<p>&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校にとって負担感が先に立ち、実施の意義や効果について一部理解が得られない状況にある。未達成の市町に対し、本県における取組の広がりや効果的な実施方法等について情報提供するなど、実施率の一層の向上を働きかける。</li> </ul>
7	学校、家庭、地域の連携による子どもの育成	「学校支援会議」が設置され、学校・家庭・地域が協働して充実した取組が行われている小・中学校の割合 85%
	<p>達成状況の区分： 達成した</p> <p>&lt;達成状況&gt;</p> <p>「学校支援会議」の設置状況 平成22年度実績 85.8% (小中学校)</p>	<p>&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校における設置率を高める。 (平成22年度 70%)</li> <li>・学校・家庭・地域において、子育てでの活動内容の活性化を図る。</li> </ul>

【様式2】

番号	項目	具体的な目標（達成水準）
8	生涯学習環境の整備	ながさき県民大学の登録講座数 2,350講座
	達成状況の区分： 達成した <達成状況> 登録講座数 2,429講座	<今後の課題> ・県民に学習機会を効果的に提供するため、県民大学講座数の充実とさらなる周知を図る。
9	文化芸術活動の推進	県教育委員会や文化庁が主催する優れた芸術の鑑賞機会に参加した子どもの数 31,000名
	達成状況の区分： 達成した <達成状況> ・子どものための優れた舞台芸術体験事業 17,382名 ・子ども県展及び同巡回展 5,268名 ・青少年劇場 7,268名 ・その他 7,518名 合計 37,436名	<今後の課題> ・今後とも、次代を担う子どもたちに、優れた芸術の鑑賞機会を積極的に提供していく。
10	競技力向上対策の推進	国民体育大会順位 20位台定着
	達成状況の区分： 達成できなかった <達成状況> 平成22年千葉国体における順位 31位	<今後の課題> ・平成26年長崎がんばらんば国体に向け、第2次長崎県競技力向上総合計画に基づき、下記の項目について重点的な取組を進める。 ・指導者の養成と適正配置 ・優秀選手の確保と強化 ・選手強化事業の充実 ・スポーツ医・科学支援体制の強化